

日刊スポーツ 2018年12月28日付

来年1月スケボ・ストリート

池から世界選手権

日本ローラースポーツ連盟は27日、20年東京五輪の追加種目スケートボード・ストリートの世界選手権（来年1月8～13日・リオデジャネイロ）に今夏のジャカルタ・アジア大会で金メダルを獲得した男子の池慧野巨（大阪・第一学院高）ら男女各2選手を派遣すると発表した。日本代表の男子は池と小鈴大和、女子はアジア大会2位の伊佐風椰（神奈川・相模女大高）と織田夢海。世界最高峰のプロツアー、ストリートリーグで今季3戦全勝した男子の堀米雄斗（XFELAG）と、プロ大会のXゲームで優勝経験がある女子の西村碧莉（ムラサキスポーツ）も出場する。

世界選手権は新設の大会で、来年10月以降に開催予定の第2回大会は男女とも上位3選手が五輪の出場権を獲得する。